

会 議 録

会議の名称	第26回白岡市地域公共交通会議及び 白岡市地域公共交通確保維持改善協議会合同会議
開催日	平成31年1月18日（金）
開催時間	午前10時 から 11時26分 まで
開催場所	白岡市役所庁舎 4階 特別大会議室
会長の氏名	野口仁史
出席者（出席 委員）の氏名・ 出席者数	栗原夏樹、明野真久、細井将司、齋藤康男、矢島静江、廣田勝明、 岡安和幸、熊谷茂浩、關根光敏、尾崎晴男、加藤裕紀、野口仁史、 酒巻光範、中村輝久  14人
欠席者（欠席 委員）の氏名・ 欠席者数	鶴岡 洋、高原 昭、佐々木 操、浅野悦子、小川幸一、畦地英樹  6人
説明員の職・ 氏名	市民生活部 部長 高澤利光 地域振興課 公共交通推進室 主査 内田英俊 企画政策課 課長補佐 千葉智則 企画政策課 主幹 小島 浩
事務局職員の 職・氏名	市民生活部 部長 高澤利光 地域振興課 公共交通推進室 主査 内田英俊
その他会議出席 者の職・氏名	なし  傍聴者1人
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 会議事項 (1) 白岡市のりあい交通の運行状況について (2) 地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価（案）について (3) 主要施設（目的地）について 4 その他 5 閉会

配布資料	会議次第 会議資料 1 白岡市のりあい交通事業評価用資料 2 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業） 3 目的地（主要施設）について その他資料 ・ 菁莪地域買物支えあい実証実験事業について
------	---

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<b>1 開会</b> 高澤市民生活部長の進行により会議が開会した。
野口会長	<b>2 挨拶</b> 野口会長から挨拶が行われた。
	<b>3 会議事項</b>
	<b>(1) 白岡市のりあい交通の運行状況について</b>
事務局	事務局から資料1に基づき、運行状況についての説明が行われた。
野口会長	本事項について、御意見・質問等があればお願いしたい。
A委員	収支率19.5パーセントとのことだが、近隣ではどのようになっているのか。分かれば教えてほしい。
事務局	本日は、近隣の数字を持ち合わせていないが、国土交通省等の資料を見ると、20パーセント程度が多いようである。良いところで40パーセント台であったと記憶している。
野口会長	他に質問がなければ、次の会議事項に移りたい。
	<b>(2) 地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価（案）について</b>
事務局	事務局から資料2に基づき、事業評価についての説明が行われた。
野口会長	本事項について、御意見・御質問等があればお願いしたい。
A委員	お昼の運行については、市民からの要望があつてのことだと思うが、他に要望は寄せられているのか。

事務局	<p>市民の要望事項等については、お昼の時間を運行することとする前に、アンケート結果等を基にして、当会議で10の課題を整理した。主には、市外への運行、運行時間の拡大である。市民の要望に加え、運行実績等を確認しながら、必要に応じて検討を考えることとしたい。</p>
野口会長	<p>他に御質問・御意見があればお願いしたい。</p> <p>では、事業評価の提出先である国土交通省埼玉運輸支局のB委員に御意見等をお願いしたい。</p>
B委員	<p>目標を達成していることは、良いことである。今後は、どのように効率的に実施していくかが課題となると思う。事業評価については、国土交通省から2次評価の結果をお知らせするので、その意見を参考にして、来年度以降の事業の参考にしてほしい。</p>
野口会長	<p>続いてC委員に御意見等をお願いしたい。</p>
C委員	<p>民生委員・児童委員は、担当地域の高齢者や乳児を見守っている。自分も、のりあい交通については、高齢者全員に声を掛け、登録を呼び掛けた。運行内容の改正や民生委員・児童委員の構成員が変わったこともあり、出前講座を行い制度理解に努め、困っている人を把握して必要な人にすすめるようにしている。</p> <p>のりあい交通の利用者が少しずつ増えているのは、継続は力なりということで、明るい兆しだと思う。</p>
D委員	<p>行政区長をしているが、菁莪地区では、路線バス廃止となったことで自家用車のみでやってきた。車が乗れなくなることを見据えて、岡泉、太田新井、彦兵衛1・2の4区で交通手段についての会議をしてきたが、その対応は難しい。70歳以上の夫婦世帯が増えており、のりあい交通はありがたいと感じている。今後も続けてほしい。</p>
野口会長	<p>E委員からは、御意見はいかがか。</p>

E 委員	<p>昼の時間の運行が始まったことは、白老連の人たちは、ありがたいと感じている。ただし、出前講座を受けたときに感じたのは、登録しなければならないということを知らない人が多いことである。アピールを徹底して、多くの人に知ってもらえるようにしてほしい。</p>
野口会長	<p>F 委員は、いかがか。</p>
F 委員	<p>運行開始から4年経ち、近隣をモデルとして白岡方式を作り、発展してきたところである。午前の利用者が多いことから、9便となったことは良いことであり、今年度の事業評価は良い評価でよいと思う。</p> <p>改善点を挙げるとしたら、持続的に事業を実施していくために事業者を守ってほしい。また、収支率の目標は達成しているが、19.5パーセントより改善していければ、よいのではないか。</p> <p>声を掛け合い、連れ立って外出するような取組をすれば、健康長寿を後押しする事業となるのではないか。</p>
野口会長	<p>各委員から意見をいただいたところであるが、事業評価については原案のとおりとすることによろしいか。</p>
事務局	<p><b>(3) 地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価（案）について</b></p> <p>事務局から資料3に基づき、主要施設（目的地）の追加についての説明が行われた。その要旨は、これまでに指定した施設と同種の施設が新たにできたため追加するというものである。</p>
野口会長	<p>本事項について、何か御意見・御質問があればお願いしたい。ないようなので、承認するということによろしいか。</p>
出席委員	<p>異議なし。</p>
野口会長	<p>それでは、会議事項が終了したので、進行を事務局にお返りする。</p>

#### 4 その他

高澤部長

それでは、最後に、次第の4その他として、「菁莪地域買物支えあい実証実験事業」について、担当の企画政策課から説明させていただきます。

千葉課長補佐  
(企画政策課)

資料「菁莪地域買物支えあい実証実験事業について」に基づき、事業目的、事業実施概要、役割分担、スケジュール、今後の方向性の説明がなされた。

高澤部長

ただ今の説明の内容に対して、御質問等があればお願いしたい。

F委員

良い話であると思うが、何のために実施するのか。地域公共交通会議の議題とすべき内容ではないのか。市の狙いを説明してほしい。

千葉課長補佐  
(企画政策課)

市の交通政策は、のりあい交通を基本として路線バス、タクシーを組み合わせながら自助、共助、公助のバランスをとりながら、考えていくこととなる。

高齢化が進む中で、特に菁莪地域では高齢者が多くなっていることから、共助の部分について、知識や手法の蓄積、ニーズ把握、課題抽出をするため、菁莪地域活性化の一環として今回の実証実験を実施するものである。今回の内容は、地域公共交通会議で議論されるべきものであると思うが、企画が遅れたため、今回の報告となったことはお詫びしたい。結果については、今後の地域公共交通会議で報告する。

C委員

民生委員にも福祉施設から車椅子の方や買物の荷物を持たない方を登録して移動するサービスを考えたいとの話があった。民生委員としては、市の一部だけではできないと考え、市全体を対象として事業者を手上げ方式で募り、実施する方法を考えている。民生委員では、各地域でどの人がどこへ行きたいのか把握して応援したいという話をしている。「どなたのことでも真剣に相談にのる。」という気持ちでいる。

この実験についても、定着して、いろいろな地域で実施してもら

高澤部長	<p>えるのであれば大賛成である。民生委員も応援したい。</p> <p>市としても、のりあい交通だけではなく、福祉部門の移送の動きもあるので、全体を見て考えていきたい。</p>
事務局	<p><b>5 閉会</b></p> <p>高澤市民生活部長が閉会を宣した。</p>